

電波時計 (置き時計) 取扱説明書

〇〇〇 特 長 〇〇〇

★時刻を電波で修正

日本標準時を乗せた標準電波を定期的に受信することにより、クオーツ精度で動いている時計の時刻を標準時に自動修正します。

★眠る秒針

暗くなると秒針が停止して気になる音の発生を押さえます。

★電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると、明るいところでも秒針が停止して電池の交換時期をお知らせします。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。

(例. 4RY〇〇〇など)

お客様相談室 ☎ 0120-557-005 (フリーダイヤル)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12

<http://www.rhythm.co.jp>

ご使用上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 禁止	この表示は、してはいけない「 禁止 」内容です。
 強制	この表示は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。

 警告	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



小さな部品や小形の電池（ボタン形、コイン形および単4形、単5形など）は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります



- +（プラス）、-（マイナス）を逆に入れないでください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子（接触部）の汚れを落としてから入れてください。



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

ご使用場所のご注意

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- ほこりが多く発生する所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる可能性があります。）
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる可能性があります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。
（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。



注意

お取り扱い上のご注意



注意

時計は精密機器です。また、外装部材にガラスなど衝撃に弱いものがありますので、落としたり、衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。また、破損した場合、人的・物的損害が発生するおそれがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

素材別のご注意

天然の素材を用いている関係で、商品ごとに色合いなどが異なることがあります。

木枠・象嵌の場合

天然の素材を使用していますので、時間の経過とともに色が変わることがあります。

直射日光や強い照明を浴びると、象嵌部分などの退色が早まる場合があります。

ガラス・大理石の場合

急激な温度変化を与えないでください。ひび割れなどの原因になります。

大理石（オニックス）は、酸に弱いので、酸性の飲み物などが付着した場合は速やかに乾拭きしてください。

■ 電波時計について

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正して正確な時刻をお知らせします。

標準電波は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

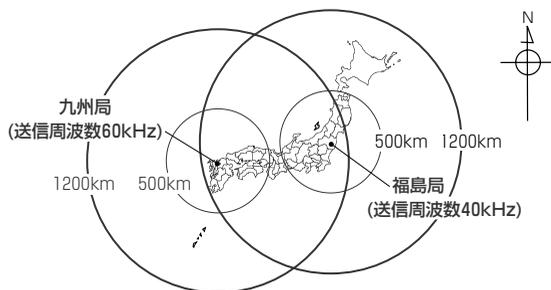
この時計は日本標準時のみに対応し、福島局または九州局を自動的に選択して受信します。

※海外で使用するときには、電波受信スイッチをOFFにしてお使いください。

標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。

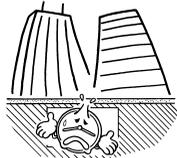
(<http://jy.crl.go.jp>)

受信できる範囲は、条件のよいとき、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、**受信範囲であっても電波障害により、受信できない場合や誤受信することがあります。**



■ 電波を受信しにくい／誤受信しやすい環境について

受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。また、ノイズにより、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



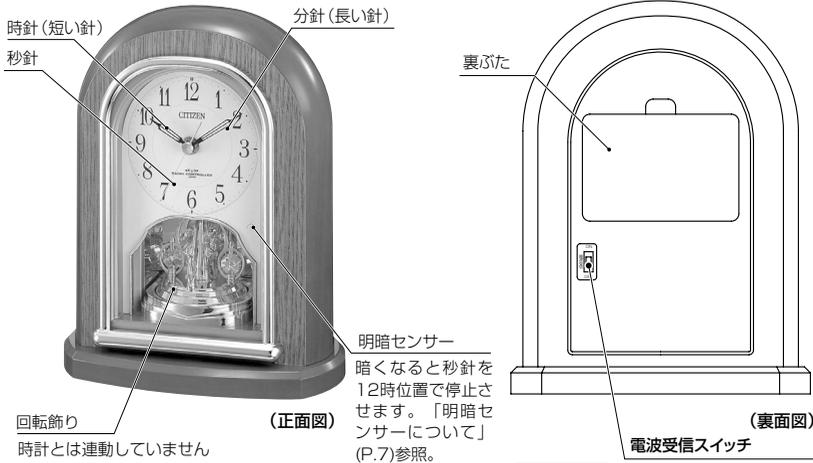
金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

■ 各部の名称と操作部の役割

図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。



…… 時針・分針の動き ……
時刻修正：早送りで順方向に動きます。
通常表示：10秒単位に動きます。

……… 秒針の動き ……
時刻修正：早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。
通常表示：滑らかなステップで1秒単位に動きます。

ON:電波を受信して時刻修正
OFF:時刻修正しません
(通常のクォーツ時計として使用)
「電波受信スイッチをOFFにしたときのご注意」(P.9)参照

単3形
アルカリ乾電池
4本

強制受信ボタン

電池を入れた、場所を変えた、誤表示をした、受信確認ボタンを押して受信表示ランプが点滅した、いずれかに該当したときに押します。

時刻合わせボタン

電波を受信できないとき、手動で時刻合わせをするときに使用します。

<操作部詳細> (裏ふたの中にあります)



受信表示ランプ

受信の進行状態や受信結果をランプの点灯・点滅・消灯で知らせます。

受信確認ボタン

電波受信の結果を受信表示ランプで確認するときに押します。
受信成功: 受信表示ランプが点灯(5秒間)
受信失敗: 受信表示ランプが点滅(5秒間)
※24時間以内の受信結果を表示します。

ご使用方法

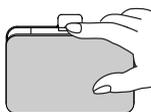
- 設置場所は、「電波を受信しにくい/誤受信しやすい環境について」を参考にしてください。窓際で、時計の正面または裏面が送信所に向くようなところが望ましいです。
- 電池を入れ、強制受信ボタンを押したら、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。

電池を入れて標準電波の受信を開始します

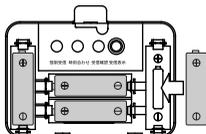
電波受信スイッチをONにします



裏ぶたを取り外します



新しい電池を入れます



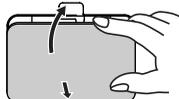
強制受信ボタンを押す



受信表示ランプが消灯してから
受信確認ボタンを押します



裏ぶたを取り付けます



差し込んでから取り付ける

- ① 電波受信スイッチをONにします。
- ② 裏ぶたを取り外します。
- ③ 単3形アルカリ乾電池4本を図のように(+)(-)を間違えないように入れ、**強制受信ボタン**を押してすぐ離します。

○電池を入れた後は誤作動を防止するため必ず**強制受信ボタン**を押してください。

○強制受信ボタンを押した後は、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。

受信表示ランプが点灯します。このとき針は止まったままですが、故障ではありません。

- ④ 受信結果を確認します。
受信には3～15分程度必要です。
受信が終了すると、針が早送りで時刻を示します。
受信表示ランプが消灯したのを確認してから、受信確認ボタンを押してください。

5秒間点灯 : 受信に成功しました。

5秒間点滅 : 受信に失敗しました。

受信表示ランプの状態については「電波受信の流れ」(P.7)をご覧ください。

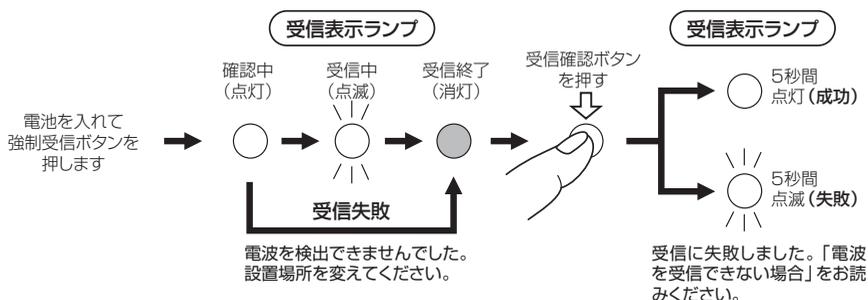
受信に失敗したときは、設置した場所に電波が届かにくい、近くにノイズの原因になるものがあるようです。「電波を受信できない場合」(P.8)をお読みください。

- ⑤ 裏ぶたを取り付けます。

誤受信による時間違いについて

受信に成功しているのに、テレビやラジオの時報または電話の時報サービスと±1秒以上違っている場合は、ノイズにより誤受信したためです。設置場所を変えるなどの対応が必要です。

電波受信の流れ



※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

電池交換時期のお知らせ機能について

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止し、受信表示ランプによる表示をしなくなります^{注1}。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間^{注2}時刻を表示続けますが、電池からの液もれにより、故障、壁や家具などに損害が発生する恐れがありますので、すべての電池をお早めに交換してください。

注1) この間も自動受信を行い、時針・分針は正常に動いています。

注2) 期間はお客様の使用条件や環境により変動します。

電池の交換方法について

指定の未使用の新しい電池4本を用意して「ご使用方法」を参考にして操作してください。

●電波受信スイッチをOFFにしてお使いの場合は、「ご使用方法」の①、④の操作を省略してください。必要に応じて手動で時刻合わせをしてください。「手動で時刻合わせをする方法」(P.8)および「電波受信スイッチをOFFにしたときのご注意」(P.9)を合わせてお読みください。

明暗センサーについて

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。明暗センサーが明るいと判別した場合、秒針は現在時刻位置に早送り移動します。

電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

(1) 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波が受信しやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻がテレビ、ラジオまたは時報サービスと近似している場合はそのまま、大きく違っている場合は、「手動で時刻合わせをする方法」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

(2) 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

窓際など比較的電波を受信しやすいところに設置し、強制受信ボタンを押してください。このとき、時計の正面または裏面が送信所の方向になるようにすることが望ましいです。

(3) 時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダや窓際など比較的受信しやすいところで、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクオーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、誤受信により誤った時刻を表示するおそれがありますので、極力、電波を受信しやすいところでお使いになることをお勧めいたします。電波受信スイッチをOFFにすると、電波を受信しなくなりますので、誤受信が発生しません。「電波受信スイッチをOFFにしたときのご注意」(P.9)をお読みください。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して、任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 手動で時刻合わせをしても、電波受信スイッチがONの状態のままでは、受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 電波受信スイッチをOFFにすると、受信して時刻を修正しないようにすることができます。「電波受信スイッチをOFFにしたときのご注意」(P.9)をお読みください。

時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押したときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
- ※秒針は時刻合わせボタンを押している間、“0秒”に設定されます。秒針が早送り動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送り現在時刻の秒位置まで移動してから滑らかなステップで1秒単位に秒を刻み始めます。

電波受信スイッチを OFF にしたときのご注意

受信できない、または誤受信しやすい場所で使用する場合や意図的に表示時刻を変えてお使いになるときは、電波受信スイッチを OFF にします。このときの時間精度はクォーツ精度になります。

- ・クォーツ精度で時刻を表示し、電波を受信して時刻の修正をしません。
- ・受信に成功した状態で、電波受信スイッチを OFF にしてから 24 時間以内は、受信確認ボタンを押すと、受信表示ランプが点灯することがあります。
- ・単3形アルカリ乾電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときには、電波受信スイッチが ON のときと同様に受信ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

Q&A こんなときには

①受信に成功してもテレビ、ラジオの時報または電話の時報サービスと合わない。

- 受信や針を動かす処理のために± 1 秒以内の表示誤差があります。これは故障ではありません。
- ノイズにより、誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して受信をさせてください。繰り返し誤受信する場合は、設置場所を変えてください。

②なぜ、時計の正面または裏面を送信所の方向に向ける必要があるのですか

- 受信用のアンテナが電波を受けやすくするためです。

③急に電波を受信できなくなった。

- 送信所の定期点検や落雷などにより停波(停止) する場合があります。停波についての情報は通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jy.crl.go.jp)
- 近くにノイズの発生源がある可能性があります。ノイズ発生源から遠ざけてください。

④この時計を海外で使用できますか

- この時計は、日本の送信局から送信される日本標準時を受信することができます。日本以外の国で送信されている標準時を受信することができません。電波受信スイッチを ON にしたままでは、まれに日本の標準時を受信し、日本の時刻を表示することがあります。また、ノイズにより誤受信して誤表示するおそれがありますので、海外でご使用になる場合は、電波受信スイッチを OFF にして通常のクォーツ時計としてお使いください。

自動受信修正回数について

受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	受信回数
受信成功から72時間以内	最少 1回/日 最多 3回/日
連続72時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12回/日 (2時間間隔)

製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功している場合 表示精度 秒針 ± 1 秒 時針・分針 目盛りに対して 3 度 電波受信に失敗している場合 月差 ± 20 秒以内 (常温中のクォーツ精度)
使用電池	1.5V 単 3 形アルカリ乾電池(JIS 規格 LR6) 4 本
電池寿命	単 3 形アルカリ乾電池 約 2 年
機能	標準電波による時刻の修正、電波受信 ON/OFF 切り替え 受信表示ランプによる受信成功・失敗表示 明暗センサーによる秒針スリープ (停止) 電池交換時期のお知らせ、回転飾り

※時計に付いている電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※単 3 形アルカリ乾電池の寿命は、電波の受信に成功して、1 日 7 時間秒針が明暗センサーにより停止しているときものです。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この置時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

支店所在地

札幌支店	☎003-0030	札幌市白石区流通センター 1-6-2	☎(011)863-3788
仙台支店	☎983-0045	仙台市宮城野区宮城野 2-10-36	☎(022)291-3235
北関東支店	☎370-0862	高崎市片岡町 3-2-12 エコーマンション 1F	☎(027)322-7892
東京支店	☎110-0005	台東区上野 6-16-22 上野TGビル5F	☎(03)5807-7814
名古屋支店	☎460-0008	名古屋市中区栄 5-19-31	☎(052)264-4581
大阪支店	☎542-0081	大阪市中央区南船場 2-7-30	☎(06)6264-2388
広島支店	☎730-0054	広島市中区南千田東町 1-12	☎(082)244-7774
福岡支店	☎816-0097	福岡市博多区半道橋 1-11-14	☎(092)471-5585

※電話番号や住所が変更されることがあります。

Y0312

R105-CXXY